



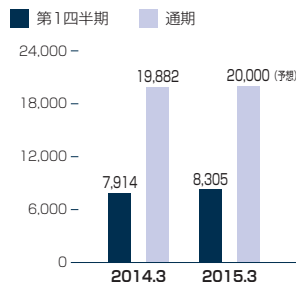
当第1四半期の連結業績

	(第1四半期実績)	(前年同期比)
売上高	8,305百万円	4.9%増
営業利益	2,256百万円	6.2%減
営業利益率	27.2%	3.2pt減
四半期純利益	1,438百万円	5.9%減
1株当たり四半期純利益	44円64銭	2円22銭減

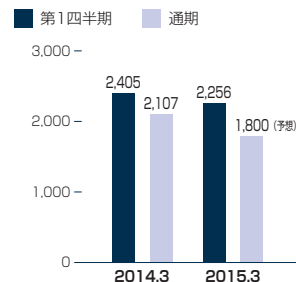
製品別売上高 (百万円)

	(第1四半期実績)	(構成比)	(前年同期比)
上場会社 ディスクロージャー関連	4,448	53.6%	1.9%増
上場会社IR関連等	2,253	27.1%	10.9%増
金融商品 ディスクロージャー関連	1,490	17.9%	6.1%増
データベース関連	113	1.4%	0.3%減

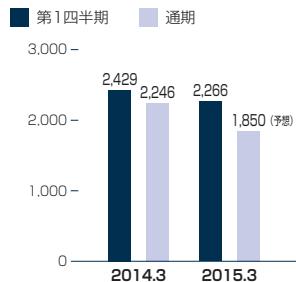
売上高 (百万円)



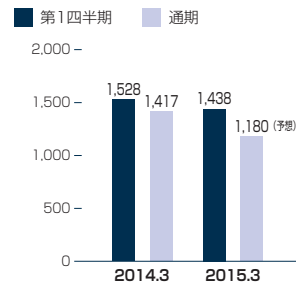
営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



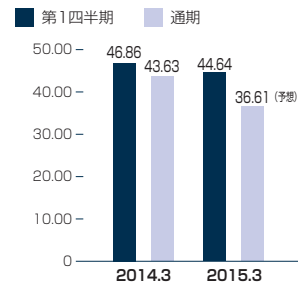
四半期(当期)純利益 (百万円)



資産・負債の状況 (百万円)

流動資産	17,538	流動負債	5,673
固定資産	13,234	固定負債	2,666
資産合計	30,773	負債合計	8,340
		純資産合計	22,433
		負債純資産合計	30,773

1株当たり四半期(当期)純利益 (円)



第1四半期の季節性について

当社グループの売上の約75%を占める事業会社向け製品・サービスは、顧客の約70%が3月決算会社であるため、決算および株主総会関連製品の受注が集中する第1四半期の売上が最も多くなっています。これにより、当第1四半期の各利益科目の実績は通期業績予想を上回っています。

株主通信 2015年3月期 第1四半期決算ご報告
(2014年4月1日~2014年6月30日)

株式会社プロネクサス 証券コード：7893
(東証一部)

株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先：〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711 (通話料無料)

●本報告書は2014年3月末時点での株主の皆様にお送りしています。

まずこちらを

開く

濡れている場合は乾かしてから
はがしてください。

会社概要 (2014年6月30日現在)

商号	株式会社プロネクサス
創業	1930年12月15日
設立	1947年5月1日
資本金	30億5,865万500円
本社	〒105-0022 東京都港区海岸一丁目2番20号 汐留ビルディング
主な事業内容	ディスクロージャー・IR実務に係る総合的支援サービス
従業員数	961名(連結) 612名(単体)

主な事業所および工場

大阪支店	札幌営業所	名古屋営業所
広島営業所	福岡営業所	戸田工場

グループ会社

株式会社アスプロコミュニケーションズ / 日本財務翻訳株式会社 / 株式会社 a2media Japan REIT株式会社

株式インフォメーション

■ 株式に関するお手続きについて

1. 証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
郵送物等の発送と返戻に関するご照会	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 0120-232-711
支払期限経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問い合わせ	
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

2. 特別口座に記録された株主様の株式に関する各種お手続きに関しましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記へお問い合わせください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

お問い合わせ先 ☎ 0120-232-711

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

■ 株主優待・IR/財務情報に関するお問い合わせはこちらへ

株式会社プロネクサス 社長室 03-5777-3145

メールアドレス asp@pronexus.co.jp

注記事項 ※本報告書は、2014年8月12日発表の2015年3月期第1四半期決算短信の数値、文章を基に作成しています。その後に公表される可能性がある訂正情報、業績予想の修正情報や決算の詳細につきましては、当社ホームページにてご確認ください。

株主の皆様へ

既存事業における
シェアアップと、
新サービスの
開発・提供を進め
成長を目指します。



郵
便
は
が
き

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第1四半期(4-6月の四半期連結累計期間)は、企業業績の回復・好調に加え、当社事業と関連性が高い国内証券市場の活況が続き国内上場会社数も下げ止まり状況にあります。こうした中、金融庁への開示書類提出システム(新EDINET)に対応するシステム利用料改定による増収に加え、証券市場の活況や企業業績の回復に伴う様々なIR関連製品サービスの受注増加、また、投資信託の新規設定や販売数増加に伴い関連製品の受注も増加しました。この結果、売上高は、8,305百万円(前年同期比4.9%増)を計上し、2期連続の増収となりました。

利益面では、新EDINETに対応するシステム関連コストの増加を主因に原価率が上昇し、営業利益は2,256百万円(同6.2%減)となりました。経常利益は2,266百万円(同6.7%減)、四半期純利益は1,438百万円(同5.9%減)となり、これらの減益幅はほぼ期初予想並みの水準にあります。

当社は、今後とも当社事業の強みを活かし、既存事業のシェアアップと新規マーケットの開拓、新サービスの開発・提供を進め、成長を目指します。株主の皆様には今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

2014年8月 代表取締役社長 上野 剛史

製品別の概況

<上場会社ディスクロージャー関連>

新EDINETに対応したシステム利用料や書類作成費の改定に伴う売上増や会計連携開示支援システムの売上増が、価格低下影響や大型IPOの反動減等を吸収し、売上高は4,448百万円(前年同期比1.9%増)となりました。

<上場会社IR関連等>

Webサービス、英文IRサービス、株主優待関連ツール等の受注や様々な顧客支援サービスの売上による増収額が株主通信の減収分を大きく上回り、売上高は2,253百万円(同10.9%増)となりました。

<金融商品ディスクロージャー関連>

J-REIT関連製品においてIPO・POの前年同期反動減の影響があったものの、投資信託の新規設定や販売数増加に伴う目録見書や運用報告書、販売用資料、Web制作等の受注増加により、売上高は1,490百万円(同6.1%増)となりました。

<データベース関連>

新たな機能やメニューの投入等によるサービス力の強化を図り、売上高は前年同期並みの113百万円となりました。

配当方針・株主優待

1. 配当方針

連結配当性向「30%以上」を基準として、安定配当をベースに業績、経営環境等を総合的に加味した配当を継続してまいります。

実績・予想	年間配当金(円 銭)			配当性向(%)	純資産配当率(%)
	第2四半期末	期末	合計		
2014年3月期	9.00	11.00	20.00	45.8	3.0
2015年3月期(予想)	9.00	9.00	18.00	49.2	

2. 自己株式について

■2014.5.12~2014.7.25の間で999千株を取得。

■2014年6月末時点の発行済株式総数は36,327千株、うち4,533千株が自己株式となっております。

3. 株主優待

毎年3月末日現在の株主様を対象に、保有年数と所有株式数に応じてQUOカードを贈呈。

	1年未満	1年以上	3年以上
100株以上	500円	1,000円	1,500円
1,000株以上	1,000円	3,000円	5,000円